

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度第3回

会議概要	
日時	令和7年1月21日（火曜日）午後6時00分から午後7時50分まで
場所	末広公民館 1階 講座室
出席者	委員（11名、正副会長以外は50音順） 村田会長，加藤副会長，泉川委員，大城委員，金澤委員，柴田委員， 田畑委員，館岡委員，早川委員，柳澤委員，渡瀬委員 （欠席者 正部川委員，中山委員，前川委員） 事務局 地域活動推進課 高桑専門官 末広公民館 澤井館長 説明 議事1 防災課 竹内主幹，大西主査 議事2 社会教育課 小島主幹，山崎主査
会議の公開・ 非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」事業概要
	資料2 「旭川市地域学校協働活動」事業概要
	資料3 末広まちづくり推進プログラム

議事の内容

1 開会

2 防災課から「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」について

資料1「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト」等により、事業概要、令和7年度スケジュール（予定）などについて、防災課から説明を行った。委員との質疑応答は次のとおり。

- ・（委員）設置予定の地区防災会議について、委員選定は地域から広く行うのか？

（防災課）まち協委員、市民委員会、地区社協、民生委員、包括支援センター、消防団、学校関係者など、およそ20名を選定する。地域の実情に応じて、近文地区では西イオンのマネージャー、忠和地区では防災協定避難場所の関係から万葉の湯、米飯地区ではJA職員も委員就任した。

- ・（委員）末広地域は水害対策が主になるか？

（防災課）その予定である。水害対策から、他災害への応用が利く。

3 社会教育から「地域学校協働活動」について

資料2「旭川市地域学校協働活動」事業概要により、事業概要、及び、令和6年度研修会などについて、社会教育課から説明を行った。委員との質疑応答は次のとおり。

- ・（委員）コーディネーターにはどのような方が就いているのか？

（社会教育課）教育委員会の職員のほか、PTAの方、公民館職員が就いている。モデル地域を拡充していく中、その地域で就任して貰える方を見つけていきたいと考えている。

4 報告・協議事項

（1）末広まちづくり推進プログラムについて

資料3「末広まちづくり推進プログラム」について、資料をもとに、事務局より、変更・更新箇所などの説明を行った。委員の確認を経て、次年度に向けたプログラムの更新作業について、完了とした。

（2）令和6年度事業報告、令和7年度活動計画について

令和6年度事業報告、令和7年度活動計画について、中間報告及び検討中の状況について確認を行った。各実行委員会において、2月末めどに完成させることとした。

(3) 組織変更について

金澤委員より、まち協の地域認知度が低迷している要因分析、及び永山地域と緑が丘地域を例に、現在の末広まちづくり連絡会に換えて、協議会委員と構成員を同じにする、末広まちづくり実行委員会を据える意見があった。また、このことに連動して、加藤副会長より、末広地域交通安全対策事業について、まち協委員に、地区市民委員会の交通安全全部長等役員を加えて、末広地域交通安全対策実行委員会を立ち上げる意見があった。委員の意見交換から、令和7年度から組織変更を行う方向とした。委員の意見は以下のとおり。

- ・(委員) まち協委員の一部で構成する連絡会の組織は、末広以外の地域にもあるか。
(事務局) 北星地域では連絡会が設置されている。
- ・(委員) 例として出された永山地域等において、協議会委員と構成員を同じくする、まちづくり実行委員会の下に各実行委員会を据えた仕組みは問題なく機能できているか。
(事務局) 各事務局からは支障なく機能できていると聞いている。
- ・(委員) 提案にあった変更を行えば、協議会開催に合わせて実行委員会を行うなど、意思決定が速やかに行えて、協議会においてまとめた地域課題について実行や活動に移していくコーディネート機能も行えていく。良い仕組みであり、末広地域においても取り入れていくのが良い。
- ・(委員) 末広地域交通安全対策実行委員会の立ち上げ作業では、各地区の市民委員長へ説明を行って、3月末目途に委員構成を準備していく方向で良いと思う。
- ・(会長) 意見を踏まえて、組織変更の方向性を確認した。

(4) その他

加藤副会長から、地域のお祭り、幼稚園や小中学校の発表会など、現在はそれぞれで行っているものを、集まって行うことで、マンパワー不足課題を解消し、地域活動への理解促進に寄与するとともに、地域の交流をさらに活性化していけるのではないかと、という提案があった。委員意見から、まち協の検討テーマの1つとしてたいへん良い提案であるので、今後議論を継続していくこととした。委員の意見は以下のとおり。

- ・(委員) 地域の祭りについては、マンパワー不足の課題などから、惜しまれながら終了したものがあつた。ふれあいコンサートは、昔は自衛隊や実業高校の参加もあつたのだが、コロナの時に規模を小さくして現在も継続している。
- ・(委員) 夏祭りには、学校の先生方や生徒たちが半日来てくれている。地域学習の位置づけで、後日に半日振り替えと、参加しやすいようになっている。
- ・(委員) 地域の敬老会では、広陵中学校から手伝いに来て貰ってたいへん助かつたし、交流も出

来て、参加の者たちは大変喜んでいて好評だった。

- ・(委員) 地域の祭りがなくなって、地域の人達は「なんで？」と淋しく感じていると思う。
- ・(委員) ふれあい祭りも、最初は「綱引き」から始まって、「玉入れ」を足して、徐々に発展、大きな祭りになっていった。
- ・(委員) 誰でも楽しめるボッチャはパークゴルフよりも良いと思う。
- ・(委員) 「水祭り」はどんどん大きくなっていった、実行委員会が持ちこたえられなくなってしまっただけで終了するしかなかったが、惜しまれたお祭りだった。
- ・(委員) 学校の吹奏楽演奏も、地域の提案があれば、本日情報提供のあった地域学校協働の仕組みを活用して工夫していける。
- ・(委員) 時間をかけて、地域のニーズを把握、確認していった、3地域集まって大きくやる、あるいは、地域が広いので無理せずに分けて行うことも良いわけで、年代関係なく多くの人を楽しめるようなものをまち協の場で検討していくべきと思う。
- ・(委員) 1からではなくて、今あるものをベースに、活用していくのが良いと思う。
- ・(委員) 委員の皆さんに関心が高い提案で、以降もまち協で検討を続けるのが良いと思う。
- ・(会長) 委員の皆さんから活発な意見をいただきました。まち協の検討テーマとして今後も継続して議論していくこととする。

5 その他

次回の協議会について

次回の協議会（第4回）は、3月11日（火）に開催することとした。

会議における飲み物提供の中止について

末広まちづくり推進協議会においては、飲み物（お茶）の準備を中止する。

6 閉会